|  |
| --- |
| **新しい社会 地図　検討の観点から見た内容の特色** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **観点** | **観点の内容** | **特色** |
| 内容の程度・分量 | ①全体の分量は，社会科の学習に活用できるように配慮されているか。 | ●社会科の学習内容に沿った資料を選定し，教科書と併せて活用することで学習効果が高まるように配慮しました。  ●社会科の学習を深められるように，地図をはじめ，グラフ・写真などの資料をバランス良く掲載しています。特に，世界のアジア，ヨーロッパ，北アメリカなど，授業でよく取り上げられる地域や，日本の三大都市圏については，多くの資料を取り上げています。 |
| ②内容の程度，範囲は，生徒の発達段階から見て適切か。 | ●内容の程度，範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており，社会科の授業で扱いやすいように，学習内容に応じて地図やグラフなど，適切な資料を取り上げました。  ●日本の一般図の地名などには原則として全てゴチック体のふりがなを付し，読み取りやすくしています。 |
| 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応 | ①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。 | ●世界の各州・日本の各地方には，地域の概観に役立つ，自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」の形で設け，基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにしました。➡p.31～32，55，63，71，77，83，93，103，109，118，127，133，145  ●世界の一般図では，国名や主要な都市名，自然地名などの基本的な情報を取り上げ，地域の特徴的な事象を「注目したい記号」の形で示すことで，地域の特色を捉えやすくしました。➡p.29～30，33～35，41～42，45～46，51～54など  ●日本の一般図では，全ての市町村名や主要な自然地名を掲載し，巻末のさくいんでも全市町村名を網羅することで，全国の市町村の位置をもれなく探せるようにしました。➡p.88～92，97～102，105～108，180～185など |
| ②「見方・考え方」を働かせるなどして，思考力・判断力・表現力を育むように配慮されているか。 | ●世界の各州・日本の各地方の「テーマ資料」では，地理的分野の諸地域学習の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ，探究課題の考察を通して理解を深め，学習効果が高まるようにしました。➡p.36～38，64～65，94，104など  ●資料のポイントや見方・考え方を示したキャラクターのふき出しを設けることで，資料を読み取る力を高め，学びを深められるようにしました。➡p.8，12，43，78，94，147など |
| ③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え，国土や歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。 | ●郷土料理の写真や，世界遺産を取り上げた地図など，我が国や郷土の伝統や文化，世界に誇れる文化財の資料を随所に掲載し，我が国や郷土で育まれてきた豊かな伝統・文化を理解し，尊重する資質や能力を養えるようにしました。➡p.19～22，95～96，111～112，134，146，165 |
| ④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。 | ●巻末の「日本の周辺」の地図で，我が国の東西南北端や排他的経済水域を示し，近隣諸国との間で領土をめぐる問題を抱えている地域を写真も交えて説明することで，我が国の領域についての理解を深められるようにしました。➡p.190～191 |
| ⑤公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。 | ●世界における日本の国際協力や平和への取り組みを紹介した資料を取り上げることで，我が国が国際社会において果たしている役割を理解し，社会への関わり方について意識を高められるようにしました。➡p.10，12，14，65 |
| ⑥持続可能な開発目標（SDGs）といった，持続可能な社会の実現に向けた，現代社会の諸課題に十分に対応しているか。 | ●持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールの一覧を掲載し，現代的な諸課題を捉え，解決に向けた態度を養えるようにしました。➡p.7～8  ●（環境・エネルギー）天然資源の偏在やエネルギー生産など，世界や日本の資源・エネルギーの現状が分かる資料を掲載することで，資源・エネルギーに関わる課題への理解を深められるようにしました。➡p.25～26，155～156など  ●（防災・安全）東日本大震災などの自然災害の被害を様子を示した資料やハザードマップなど，防災・安全に関する資料を豊富に掲載し，主体的な防災・安全への意識や態度を養えるようにしました。➡p.134，151～152など  ●（人権・平和）世界の紛争や難民問題についての資料や，沖縄戦や原子爆弾の投下に関する資料を掲載することで，現代社会的な視点と歴史的な視点から平和学習を展開できるようにしました。➡p.13～14，94，96，104  ●（伝統・文化）世界の文化や宗教に関する資料や，日本の食文化などを取り上げることで，世界の様々な文化や宗教を尊重し，郷土の文化を大切にする態度を養えるようにしました。➡p.19～22，47，134，165など  ●（情報・技術）世界のインターネット利用の様子を示す資料や，航空機や鉄道の発達を示す資料を掲載し，工業技術や情報網，交通網の発達が現在の私たちの生活を支えていることを理解できるようにしました。➡p.161～162など |
| ⑦小学校との系統的な接続をうながすように配慮されているか。 | ●巻頭に世界の国や首都を示した世界全図，巻末に日本の都道府県と県庁所在地を示した日本全図を掲載し，小学校での学習を振り返りながら，中学校での社会科学習を進められるようにしました。➡p.1～3，192 |
| ⑧地理的分野・歴史的分野・公民的分野の学習内容との関連に配慮されているか。 | ●社会科教科書との連携をいっそう図り，教科書の本文や資料を補完したり，より深めたりする資料を豊富に取り上げました。  ●地理的分野の世界や日本の諸地域学習に活用できるように，世界と日本の各州・地方の資料を，「一般図→地域の概観に役立つ『基本資料』→追究学習に役立つ『テーマ資料』」の流れで構造化しました。また，教科書の本文や掲載資料との連携を図り，併せて読み取ることで学習効果が高まる資料を掲載し，課題解決的な学習で活用できるようにしました。➡p.76～78，97～104など  ●歴史的分野や公民的分野での活用を想定した特設ページを設け，歴史や公民との連携を強めました。また，古代文明やイスラム世界の学習で活用できる「西アジア・環地中海」の一般図や，江戸時代の大阪の地図を掲載したり，環境問題や人口問題，紛争などの現代的な諸課題に関する特設ページを設けたりすることで，歴史や公民の授業での活用度を高めました。➡p.7～14，39～40，45～46，95〜96，110～112，131～132など |
| 構成・配列 | ①教材の配列は，学習しやすいように配慮されているか。 | ●地理的分野の教科書の構成に沿った配列で，大きく「世界」と「日本」とに分け，「世界全体の資料→世界の一般図・資料→日本の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資料」の順に配置し，授業での活用度を高めました。 |
| ②一般図の構成や掲載範囲は，学習効果を高めるように工夫されているか。 | ●世界の一般図は，ユーラシア大陸を初めに位置付け，東から西にヨーロッパ，アフリカ，南北アメリカ，オセアニアの順に並べ，随所に大きく大陸や海洋をおさえる縦の地図を掲載することで，地球の姿を捉えやすくしました。➡p.29～30，61～62，67～68など  ●歴史的な結び付きが強いヨーロッパとアフリカを同じ一般図に掲載するなど，地域的なつながりを重視した様々な範囲の一般図を掲載し，地理だけでなく，歴史や公民の学習にも活用できるようにしました。➡p.45～46，61～62など  ●日本の一般図は，標高と地形区分によって色分けした100万分の1地勢図を，中国・四国地方を分けた8地方区分で掲載して地形の特色を捉えやすくしたり，全ての政令指定都市を網羅した50万分の1拡大図に土地利用を示したりすることで，日本全体の姿を捉えやすくしました。 ➡p.88～92，97～102，105～108，113～117，121～124，135～142 |
| ③地図の活用をうながす工夫がなされているか。 | ●巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け，地図帳の構成要素を解説し，具体的な活用例を示すことで，授業での地図帳の活用方法を理解しやすくしました。➡p.4～6  ●巻末の「資料さくいん」では，地形や気候などの分類ごとに資料の種類やページを掲載し，資料の検索性を高めました。➡p.186 |
| ④写真・図表その他の資料が適切に用意され，学習効果を高めるように配慮されているか。 | ●写真や地図，グラフなどの資料を約70点増やし，生徒が具体的なイメージを持って学習を深められるようにしました。  ●日本との結び付きが特に強いアジア，ヨーロッパ，北アメリカの各州には鳥瞰図を見開きで掲載し，生徒が地形のイメージを捉えやすくしました。➡p.31～32，49～50，73～74  ●ご当地キャラクターや，オリンピック，サッカーワールドカップの開催国など，生徒の興味・関心を高める資料を取り上げ，学習に取り組む意欲や態度が高まるようにしました。➡p.22，165  ●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し，該当箇所には「Dマーク」を付すことで，学習効果が高まるようにしています。➡p.7，34，90など |
| 印刷・造本 | ①造本面で，生徒が使いやすい工夫がなされているか。 | ●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い，資料を豊富に掲載するとともに，写真や文字の鮮明さに留意し，見やすく印象的な紙面構成にしました。また，使用している文字の大きさや書体は適切で，読みやすいものになっています。  ●糸かがりとじで製本するなど，造本は堅牢で，長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。 |
| ②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。 | ●不要な凸凹や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用することで，学習内容に集中できるようにしました。  ●紙面全体で，色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や，色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。  ●使用しているほとんどの文字にユニバーサルデザインフォントを採用しました。  ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し，読み取りやすいゴチック体のふりがなを採用しました。 |
| ③用紙等，環境への配慮がなされているか。 | ●用紙には，強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し，環境に配慮するとともに，文字や図表，写真などの資料が読み取りやすく，色映えするように工夫しています。  ●印刷用のインキは，環境に配慮した植物油インキを使用しています。 |